

気候情報

2014年5月の日本の天候

- 東・西日本では、降水量が少なく、日照時間がかなり多かった
- 沖縄・奄美では、降水量が多く、日照時間がかなり少なかった
- 気温は、北・東日本で高かった

5月の天気概況

月を通して、天気は数日の周期で変わったが、東・西日本を中心に高気圧に覆われて晴れる日が多かった。このため、東・西日本の月降水量は少なく、月間日照時間はかなり多くなった。特に東日本太平洋側、西日本太平洋側、西日本日本海側の月間日照時間は、それぞれ平年の137%、130%、135%と、5月としては統計を開始した1946年以降最も多い値となった。一方、沖縄・奄美は、南から湿った気流が入りやすく、前線の活動が活発で曇りや雨の日が多かったことから、月降水量が多く、月間日照時間がかなり少なかった。気温は、上旬前半、中旬前半、下旬後半に、北日本を中心に平年を大幅に上回ったため、北・東日本では月平均気温が高かった。

上旬：北日本から西日本にかけては、高気圧に覆われ晴れる日が多く、西日本日本海側の旬間日照時間は、5月上旬としては、統計を開始した1961年以降、最も多い値となった。旬のはじめは、南から暖かい空気が入り、北日本では気温が平年を大幅に上回った。沖縄・奄美では、旬の前半に冷涼な高気圧で覆われ、後半は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多く、気温の低い日が続いた。沖縄地方では、平年より4日早い5日ごろ梅雨入りした（速報値）。旬平均気温は、沖縄・奄美でかなり低く、西日本で低かった。また、北日本では高く、東日本は平年並だった。旬降水量は、北日本日本海側、東日本太平洋側、西日本でかなり少なく、北日本太平洋側、東日本日本海側で少なかった。一方、沖縄・奄美ではかなり多く、5月上旬としては統計を開始した1961年以降で最も多い旬降水量となった。旬間日照時間は、東日本太平洋側、西日本でかなり多く、北日本太平洋側、東日本日本海側で多かった。沖縄・奄美ではかなり少なく、北日本日本海側では平年並だった。

中旬：北日本から西日本にかけては、上旬同様高気圧に覆われ晴れる日が多かった。旬の前半は、北・東日本では南から暖かい空気が入り、北日本を中心に気温が平年を大幅に上回った。16日は、発達した低気圧が千島列島付近に進み、北海道ではオホーツク海側を中心に大雨となった。一方、沖縄・奄美は、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。奄美地方では、平年と同じ11日ごろ梅雨入りした（速報値）。旬平均気温は、全国的に高かった。旬降水量は、北日本日本海側ではかなり多く、北日本太平洋側・西日本、沖縄・奄美で多かった。一方、東日本では少なかった。旬間日照時間は、東日本太平洋側でかなり多く、北日本太平洋側、東日本日本海側で多かった。一方、

沖縄・奄美ではかなり少なかった。北日本日本海側、西日本では平年並だった。

下旬：東日本から沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わった。21日は、東日本を中心に大雨となる所があった。旬の終わりには、北・東日本中心に南から暖かい空気が入り、気温が平年を大幅に上回った。全国的に最高気温が30°C以上の真夏日となり、各地で5月の気温の最も高い値を更新した。旬平均気温は、西日本でかなり高く、北・東日本、沖縄・奄美で高かった。旬降水量は、東日本太平洋側でかなり多く、東日本日本海側で多かった。一方、北日本日本海側、西日本、沖縄・奄美では少なかった。北日本太平洋側は平年並だった。旬間日照時間は、西日本でかなり多く、東日本太平洋側で多かった。北日本、東日本日本海側、沖縄・奄美は平年並だった。

5月の気候統計

月平均気温：北・東日本で高かった。西日本と沖縄・奄美は平年並だった。

月降水量：沖縄・奄美で多かった。一方、東・西日本では少なかった。北日本は平年並だった。

月間日照時間：東・西日本ではかなり多かった。北日本太平洋側では多く、北日本日本海側では平年並だった。また沖縄・奄美では、かなり少なかった。

(気象庁観測部情報管理室)

5月の記録（1位更新のみ）

・月平均気温の高い方から（°C）

函館 13.4 むつ 13.8 盛岡 15.7

・月間日照時間多い方から（h）

秩父 249.7 尾鷲 256.6 福岡 280.7 など30地点

2014年5月の平年差（比）図

